FRANKLIN TEMPLETON

フランクリン・テンプルトン・ブラジル国債ファンド(年２回決算型)

運用報告書（全体版）

第36期　決算日　2026年９月14日

◇当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限（2008年10月31日設定）	
運用方針	当ファンドは、主にフランクリン・テンプルトン・ブラジル国債マザーファンド受益証券への投資を通じて、主にブラジル・レアル建てのブラジル国債に投資を行うことにより、信託財産の中長期的成長を目指します。	
主要運用対象	当ファンド	フランクリン・テンプルトン・ブラジル国債マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	フランクリン・テンプルトン・ブラジル国債マザーファンド	ブラジル・レアル建てのブラジル国債を主要投資対象とします。
組入制限	当ファンド	株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10％以内とします。 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	フランクリン・テンプルトン・ブラジル国債マザーファンド	株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10％以内とします。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	年２回の決算日（原則として毎年３月13日及び９月13日。休業日の場合は翌営業日）に、収益分配方針に基づいて分配を行います。	

－ 受益者のみなさまへ －

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「フランクリン・テンプルトン・ブラジル国債ファンド（年２回決算型）」は、2026年９月14日に第36期の決算を行いましたので、期中の運用状況と収益分配金をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

フランクリン・テンプルトン・ジャパン株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目5番1号
お問合わせ先
TEL 03-5219-5947
（受付時間　営業日の9:00～17:00）
https://www.franklintempleton.co.jp

○最近５期の運用実績

決算期	基準価額			債券組入比率	債券先物比率	純資産総額
	(分配落)	税込み分配金	期中騰落率			
	円	円	%	%	%	百万円
32期(2024年９月13日)	17,254	0	△13.1	99.6	－	2,366
33期(2025年３月13日)	18,141	0	5.1	100.0	－	2,246
34期(2025年９月16日)	20,881	0	15.1	99.7	－	2,380
35期(2026年３月13日)	24,060	0	15.2	99.9	－	2,492
36期(2026年９月14日)	25,180	0	4.7	98.9	－	3,667

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「債券組入比率」「債券先物比率」は実質比率を記載しております。
(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。
(注) 市場に広く認知されている指標等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

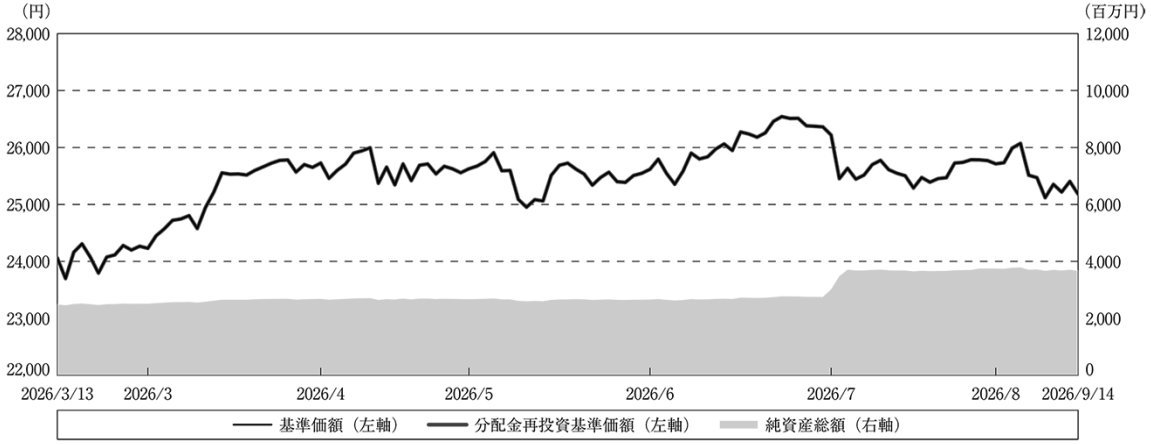
年月日	基準価額		債券組入比率	債券先物比率
		騰落率		
(期　首)	円	%	%	%
2026年３月13日	24,060	－	99.9	－
３月末	24,230	0.7	97.9	－
４月末	25,727	6.9	98.8	－
５月末	25,626	6.5	99.0	－
６月末	25,618	6.5	98.8	－
７月末	26,219	9.0	98.6	－
８月末	25,713	6.9	99.4	－
(期　末)				
2026年９月14日	25,180	4.7	98.9	－

(注) 騰落率は期首比です。
(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「債券組入比率」「債券先物比率」は実質比率を記載しております。
(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

○運用経過

期中の基準価額等の推移

（2026年３月14日～2026年９月14日）



期　首：24,060円
期　末：25,180円（既払分配金(税込み)：０円）
騰落率：　4.7%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
（注）分配金再投資基準価額は、期首（2026年３月13日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
（注）上記騰落率は、小数点以下第２位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当期のパフォーマンス（騰落率）は、プラスとなりました。公社債利金を手堅く確保したほか、公社債損益もプラスとなりました。一方、為替損益はマイナスとなりました。

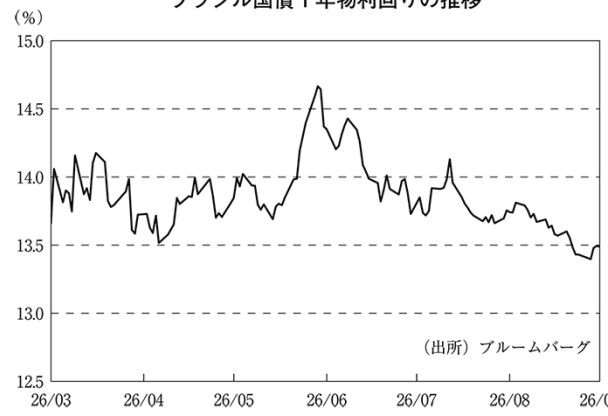
投資環境

（2026年３月14日～2026年９月14日）

当期のブラジル債券市場では、利回りがわずかに低下しました。

期の前半は、中東情勢の悪化を背景に原油価格が上昇するなか、インフレ懸念によりブラジル中央銀行（BCB）の利下げペースが鈍化するとの観測が強まると、利回りは上昇しました。一方、米・イランの和平協議への期待から原油価格が下落する局面では、利回りは低下しました。なお、BCBは2026年３月の金融政策決定会合で利下げを開始しました。

ブラジル国債１年物利回りの推移



期の半ばは、米国通商代表部（USTR）がブラジルからの輸入品に対し原則25%の追加関税を課すことが適切だと提案したことから、ブラジル市場は株・債券・通貨が下落するトリプル安の展開となり、利回りは上昇しました。しかし、その後はホルムズ海峡を通過する原油輸送量が中東情勢の緊迫化前とほぼ同じ水準に戻っているとの報道を受けて、原油価格が下落し、インフレ懸念が後退したことから、利回りは低下しました。

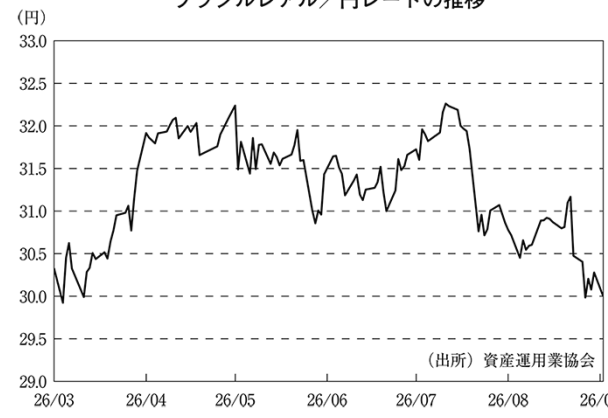
期の後半は、原油高に加えて、ブラジル政府が米国による追加関税への対策として緊急支援を発表したことが財政悪化懸念につながったため、利回りは一時上昇しました。しかし、その後は中東情勢の緩和期待を背景に原油価格が下落したことから、インフレ懸念が後退したため、利回りは低下しました。

当期のブラジルレアル・円相場は、レアル安・円高となりました。

期の前半は、イランと米国の軍事衝突を巡る一時停戦を受け、中東情勢の緊張緩和への期待が高まったことから、投資家のリスク選好姿勢が強まると、レアル高・円安が進みました。

期の半ばは、米国によるブラジルからの輸入品に対する追加関税の報道を受けて、レアル安・円高が優勢となりました。その後は、中東情勢の緩和を背景に投資家のリスク選好姿勢が強まったことがレアル高・円安の要因となったものの、原油安が産油国通貨であるレアル

ブラジルレアル／円レートの推移



の重しとなり、レアル・円相場は方向感に欠ける展開となりました。

期の後半は、日米両国の協調による為替介入が実施されたことから、円が主要通貨に対して上昇するなか、レアル安・円高が進みました。

当ファンドのポートフォリオ

（2026年３月14日～2026年９月14日）

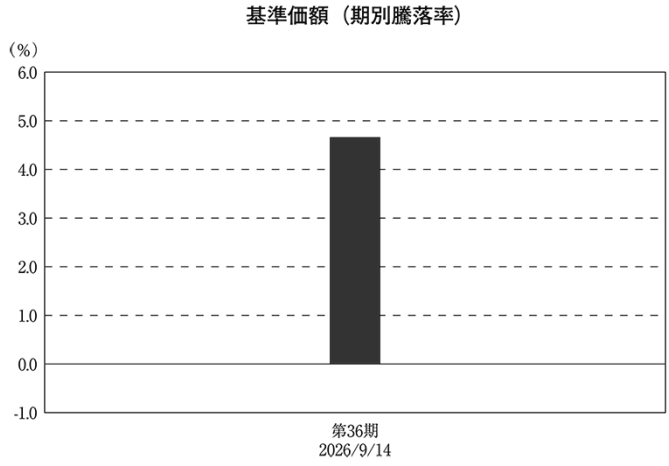
当ファンドは、主にフランクリン・テンプルトン・ブラジル国債マザーファンド受益証券への投資を通じて、主にブラジルレアル建てのブラジル国債に投資を行うことにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用に努めてまいりました。また、外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。当期においては、債券の流動性や残存年数に配慮しながら、引き続きポートフォリオを構築しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2026年３月14日～2026年９月14日）

市場に広く認知されている指標等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

右記のグラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



（注）基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

分配金

（2026年３月14日～2026年９月14日）

分配金につきましては、基準価額動向や保有債券の利子収入等を勘案し、以下の通りとさせていただきました。なお、収益分配に充当しなかった利益につきましては信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づき運用を行います。

○分配原資の内訳

（単位：円、１万口当たり・税込み）

項目	第36期 2026年３月14日～ 2026年９月14日
当期分配金	－
（対基準価額比率）	－％
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	22,668

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

主にブラジルレアル建てのブラジル国債に投資を行い、債券の流動性や残存年数に配慮しながら、引き続きポートフォリオを構築してまいります。

○１万口当たりの費用明細

（2026年３月14日～2026年９月14日）

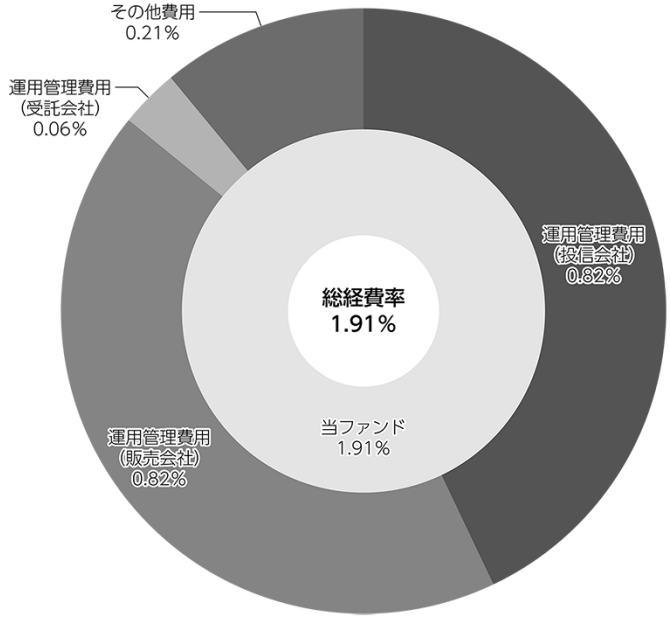
項目	当期 金額	当期 比率	項目の概要
	円	%	
(a) 信託報酬	221	0.864	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	(107)	(0.418)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(107)	(0.418)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(7)	(0.028)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	27	0.104	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(21)	(0.081)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(2)	(0.010)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（印刷等費用）	(3)	(0.014)	印刷等費用は、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出に係る費用
合計	248	0.968	
期中の平均基準価額は、25,522円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
(注) 各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

◯総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.91％です。



（注）当ファンドの費用は１万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注）各比率は、年率換算した値です。
（注）当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。
（注）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

（2026年３月14日～2026年９月14日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
フランクリン・テンプルトン・ブラジル国債マザーファンド	369,717	1,321,026	69,585	242,536

（注）単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

（2026年３月14日～2026年９月14日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第二種金融商品取引業を兼業している投資信託委託会社の自己取引状況

（2026年３月14日～2026年９月14日）

該当事項はございません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

（2026年３月14日～2026年９月14日）

該当事項はございません。

○組入資産の明細

（2026年９月14日現在）

親投資信託残高

銘柄	期首(前期末)	当期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
フランクリン・テンプルトン・ブラジル国債マザーファンド	765,422	1,065,554	3,692,678

（注）単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

（2026年９月14日現在）

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
フランクリン・テンプルトン・ブラジル国債マザーファンド	3,692,678	99.7
コール・ローン等、その他	10,253	0.3
投資信託財産総額	3,702,931	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

（注）フランクリン・テンプルトン・ブラジル国債マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（25,595,128千円）の投資信託財産総額（25,928,447千円）に対する比率は98.7％です。

（注）外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、９月14日における邦貨換算レートは1米ドル=153.65円、1ブラジルレアル=30.0029円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2026年９月14日現在)

項　　目	当 期 末
	円
(A) 資産	3,702,931,137
フランクリン・テンプルトン・ブラジル国債マザーファンド(評価額)	3,692,678,568
未収入金	10,252,569
(B) 負債	35,885,270
未払解約金	10,252,569
未払信託報酬	24,963,372
その他未払費用	669,329
(C) 純資産総額(Ａ－Ｂ)	3,667,045,867
元本	1,456,344,583
次期繰越損益金	2,210,701,284
(D) 受益権総口数	1,456,344,583口
１万口当たり基準価額(Ｃ／Ｄ)	25,180円

＜注記事項＞

元本の状況

期首元本額	1,035,874,934円
期中追加設定元本額	507,457,808円
期中一部解約元本額	86,988,159円

期末における１口当たりの純資産額は2.5180円です。

○損益の状況 (2026年３月14日～2026年９月14日)

項　　目	当　　期
	円
(A) 有価証券売買損益	91,132,127
売買益	103,414,203
売買損	△　12,282,076
(B) 信託報酬等	△　25,632,701
(C) 当期損益金(Ａ＋Ｂ)	65,499,426
(D) 前期繰越損益金	874,181,778
(E) 追加信託差損益金	1,271,020,080
(配当等相当額)	(　2,262,248,553)
(売買損益相当額)	(△　991,228,473)
(F) 計(Ｃ＋Ｄ＋Ｅ)	2,210,701,284
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金(Ｆ＋Ｇ)	2,210,701,284
追加信託差損益金	1,271,020,080
(配当等相当額)	(　2,268,599,387)
(売買損益相当額)	(△　997,579,307)
分配準備積立金	1,032,761,249
繰越損益金	△　93,080,045

(注) 損益の状況の中で**(A)有価証券売買損益**は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で**(B)信託報酬等**には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で**(E)追加信託差損益金**とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用として、委託者報酬（販売会社に支払う手数料を除いた額）のうち、フランクリン・テンプルトン・ブラジル国債マザーファンドに対応する額の100分の96相当額を支弁しております。

＜分配金の計算過程＞

決　　算　　期	当　　期
(A) 配当等収益(費用控除後)	158,579,471円
(B) 有価証券売買等損益(費用控除後、繰越欠損金補填後)	0
(C) 収益調整金	2,268,599,387
(D) 分配準備積立金	874,181,778
分配対象収益額(Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ)	3,301,360,636
(１万口当たり収益分配対象額)	(　22,668)
収益分配金	0
(１万口当たり収益分配金)	(　0)

＜お知らせ＞

2026年４月１日付で一般社団法人投資信託協会と一般社団法人日本投資顧問業協会は合併し、名称を「一般社団法人資産運用業協会」に変更することとなったため、投資信託約款に所要の変更を行いました。
そのほか、弊社の投資信託約款において文言の平仄を合わせるとともに、より適切な記載とするため、所要の変更を行いました。
（変更日：2026年４月１日）

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

（2026年９月14日現在）

＜フランクリン・テンプルトン・ブラジル国債マザーファンド＞

下記は、フランクリン・テンプルトン・ブラジル国債マザーファンド全体(7,471,654千口)の内容です。

外国公社債

(A)外国(外貨建)公社債　種類別開示

区分	当期末							
	額面金額	評価額		組入比率	うちBB格以下組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			５年以上	２年以上	２年未満
	千ブラジルレアル	千ブラジルレアル	千円	%	%	%	%	%
ブラジル	874,300	847,228	25,419,305	98.2	98.2	－	12.1	86.0
合計	874,300	847,228	25,419,305	98.2	98.2	－	12.1	86.0

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
(注) 単位未満は切捨て。

(B)外国(外貨建)公社債　銘柄別開示

銘柄			当期末				
			利率	額面金額	評価額		償還年月日
					外貨建金額	邦貨換算金額	
ブラジル			%	千ブラジルレアル	千ブラジルレアル	千円	
	国債証券	BRAZIL-LTN(LETRA TESO NA)	－	229,400	214,478	6,434,981	2027/4/1
		BRAZIL-LTN(LETRA TESO NA)	－	46,700	39,579	1,187,510	2028/1/1
		BRAZIL-LTN(LETRA TESO NA)	－	140,700	104,627	3,139,124	2029/1/1
		BRAZIL-NTN-F(NOTA TESO N)	10.0	138,000	136,606	4,098,594	2027/1/1
		BRAZIL-NTNB(NOTA TESO N)	6.0	9,500	43,992	1,319,906	2028/8/15
		LETRA TESOURO NACIONAL	－	310,000	307,943	9,239,187	2026/10/1
合計						25,419,305	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

フランクリン・テンプルトン・ブラジル国債マザーファンド

運用状況のご報告

第18期　決算日　2026年３月13日

（計算期間：2025年３月14日～2026年３月13日）

－ 受益者のみなさまへ －

法令・諸規則に基づき、「フランクリン・テンプルトン・ブラジル国債マザーファンド」の第18期の運用状況をご報告申し上げます。

◇当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商品分類	親投資信託
信託期間	無期限（2008年10月31日設定）
運用方針	１．主としてブラジル・レアル建てのブラジル国債を中心に投資を行います。 ２．原則として外貨建資産の為替ヘッジを行いません。 ３．債券の流動性や残存年数に配慮しながらポートフォリオを構築します。
主要運用対象	ブラジル・レアル建てのブラジル国債を主要投資対象とします。
組入制限	外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

○最近５期の運用実績

決算期	基準価額		債券組入比率	債券先物比率	純資産総額
		期中騰落率			
	円	%	%	%	百万円
14期(2022年３月14日)	16,047	19.6	97.9	－	28,484
15期(2023年３月13日)	20,137	25.5	98.8	－	24,983
16期(2024年３月13日)	26,170	30.0	98.1	－	25,682
17期(2025年３月13日)	24,355	△ 6.9	99.1	－	20,168
18期(2026年３月13日)	32,822	34.8	99.1	－	24,443

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。
(注) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

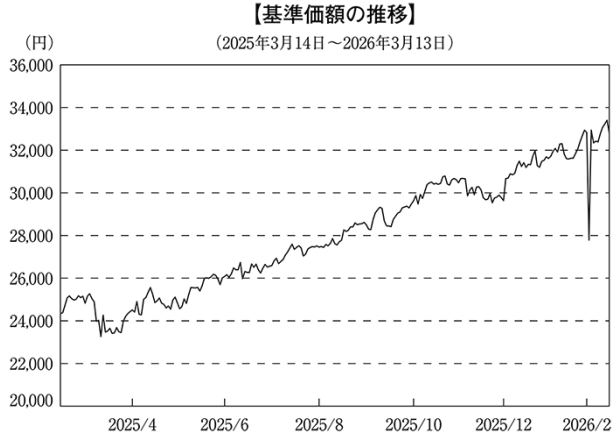
年月日	基準価額		債券組入比率	債券先物比率
		騰落率		
(期　首)	円	%	%	%
2025年３月13日	24,355	－	99.1	－
３月末	24,828	1.9	99.7	－
４月末	24,507	0.6	98.7	－
５月末	24,843	2.0	99.2	－
６月末	26,080	7.1	98.5	－
７月末	26,817	10.1	99.8	－
８月末	27,459	12.7	98.9	－
９月末	28,616	17.5	99.7	－
10月末	29,624	21.6	99.0	－
11月末	30,672	25.9	98.5	－
12月末	29,636	21.7	97.2	－
2026年１月末	31,689	30.1	99.0	－
２月末	32,822	34.8	99.0	－
(期　末) 2026年３月13日	32,822	34.8	99.1	－

(注) 騰落率は期首比です。
(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

○運用経過

期中の基準価額等の推移

（2025年３月14日～2026年３月13日）



（注）基準価額算出に関する事務処理上の誤りにより、2026年３月２日の基準価額が、本来あるべき基準価額から乖離して低く算出されました。詳しくはお知らせをご覧ください。

○基準価額の主な変動要因

当期のパフォーマンス（騰落率）はプラスとなりました。公社債利金を手堅く確保したほか、債券利回りが低下（価格は上昇）するなか、公社債損益もプラスとなりました。また、ブラジルレアル高・円安を反映して、為替損益もプラスとなりました。

投資環境

当期のブラジル債券市場では、利回りが低下しました。

期の前半は、ブラジル中銀（BCB）が３会合連続で１％の利上げを決定したことなどから、利回りは一時上昇（価格は下落）しました。しかし、その後は米国の関税措置による景気後退懸念の高まりから、安全資産である国債に資金が流入したため、利回りは低下しました。

期の半ばは、BCBが利上げサイクルを停止したことなどから、利回りは低下しました。その後も、ブラジルの消費者物価指数（CPI）の伸びの鈍化を受けて、BCBの利下げ開始観測が高まったことから、利回りは一段と低下しました。

ブラジル国債（２年物）利回りの推移



期の後半は、米国が麻薬密売に関与したとしてベネズエラの反米左派マドゥーロ大統領を拘束したことを受けて、2026年に重要な選挙を多く控える中南米全体で左派から右派への政権交代が進むとの見方を背景に、市場重視の改革が進展するとの思惑が広がるなか、ブラジルへも海外から資金が流入するとの期待が高まり、ブラジルの利回りは低下しました。また、BCBが2026年３月の会合での利下げを示唆したことも、利回りの低下要因となりました。しかし、その後はイラン情勢の悪化を受けて原油先物価格が上昇するなか、インフレ懸念を背景にBCBの利下げペースが鈍化するとの懸念が強まり、期末にかけて利回りは上昇しました。

当期のブラジルレアル・円相場は、レアル高・円安となりました。

期の前半は、トランプ米大統領による相互関税などの発表を受けて、投資家のリスク回避姿勢が強まったため、安全資産とされる日本円が対レアルで上昇しました。しかし、その後はトランプ米政権が対中強硬姿勢を緩和させる可能性があるとの報道を受けて、市場のリスク回避姿勢が和らいだことから、レアル高・円安が優勢となりました。また、日銀が2025年５月の金融政策決定会合で政策

ブラジルレアル／円レートの推移



金利を据え置き、インフレ見通しを下方修正したこともレアル高・円安要因となりました。

期の半ばは、米国と日本、欧州連合（EU）の関税交渉合意を受けて投資家のリスク選好が強まったことから、レアル高・円安が一段と進行しました。また、高市首相による新政権のもと財政拡張や金融緩和が進むとの観測も、レアル高・円安の要因となりました。

期の後半は、ベネズエラのマドゥーロ大統領の拘束を背景に、ブラジルでも左派から右派への政権交代が進むとの見方を受けて、市場改革の進展からブラジルに資金が流入するとの期待が高まると、レアル高・円安が優勢となりました。また、日本の衆院選における自民党優勢が伝えられるなか、財政拡張への警戒感が意識されたことや、日本政府が金融緩和に前向きとみられる学識者を日銀審議委員に起用する人事を提示したことなども、レアル高・円安の要因となりました。

当ファンドのポートフォリオ

当ファンドは、主にブラジルレアル建てのブラジル国債に投資を行うことにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用に努めてまいりました。当期においては、債券の流動性や残存年数に配慮しながら、引き続きポートフォリオを構築しました。

○今後の運用方針

主にブラジルレアル建てのブラジル国債に投資を行い、債券の流動性や残存年数に配慮しながら、引き続きポートフォリオを構築してまいります。

○１万口当たりの費用明細

（2025年３月14日～2026年３月13日）

項目	当期 金額	当期 比率	項目の概要
	円	%	
(a) その他費用	39	0.137	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(39)	(0.137)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
合計	39	0.137	
期中の平均基準価額は、28,132円です。			

（注）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注）各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

（2025年３月14日～2026年３月13日）

公社債

			買付額	売付額
外国	ブラジル	国債証券	千ブラジルレアル 745,639	千ブラジルレアル 686,368 （ 7,650）

（注）金額は受渡し代金。（経過利息分は含まれておりません。）
（注）単位未満は切捨て。
（注）（ ）内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

（2025年３月14日～2026年３月13日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

（2026年３月13日現在）

外国公社債

（A）外国(外貨建)公社債　種類別開示

区分	当期末							
	額面金額	評価額		組入比率	うちBB格以下組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			５年以上	２年以上	２年未満
	千ブラジルレアル	千ブラジルレアル	千円	%	%	%	%	%
ブラジル	850,100	799,030	24,230,277	99.1	99.1	－	16.1	83.0
合計	850,100	799,030	24,230,277	99.1	99.1	－	16.1	83.0

（注）邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
（注）組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
（注）単位未満は切捨て。

（B）外国(外貨建)公社債　銘柄別開示

銘柄			当期末				
			利率	額面金額	評価額		償還年月日
					外貨建金額	邦貨換算金額	
ブラジル			%	千ブラジルレアル	千ブラジルレアル	千円	
	国債証券	BRAZIL-LTN(LETRA TESO NA)	－	143,000	141,991	4,305,823	2026/4/1
		BRAZIL-LTN(LETRA TESO NA)	－	3,600	3,150	95,530	2027/4/1
		BRAZIL-LTN(LETRA TESO NA)	－	178,500	125,409	3,802,993	2029/1/1
		BRAZIL-NTN-F(NOTA TESO N)	10.0	89,500	87,056	2,639,967	2027/1/1
		BRAZIL-NTN-F(NOTA TESO N)	10.0	5,000	4,626	140,295	2029/1/1
		BRAZIL-NTNB (NOTA TESO N)	6.0	9,000	41,209	1,249,667	2026/8/15
		LETRA TESOURO NACIONAL	－	111,500	107,201	3,250,836	2026/7/1
		LETRA TESOURO NACIONAL	－	310,000	288,385	8,745,163	2026/10/1
合計						24,230,277	

（注）邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
（注）額面・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

（2026年３月13日現在）

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
公社債	24,230,277	98.9
コール・ローン等、その他	262,638	1.1
投資信託財産総額	24,492,915	100.0

（注）金額の単位未満は切捨て。
（注）当期末における外貨建純資産（24,289,135千円）の投資信託財産総額（24,492,915千円）に対する比率は99.2%です。
（注）外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、３月13日における邦貨換算レートは1米ドル=159.26円、1ブラジルレアル=30.3246円です。

○特定資産の価格等の調査

（2025年３月14日～2026年３月13日）

該当事項はございません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

（2026年３月13日現在）

項　　目	当 期 末
	円
(A) 資産	24,492,915,313
コール・ローン等	208,985,949
公社債(評価額)	24,230,277,175
未収利息	53,652,189
(B) 負債	49,723,741
未払解約金	49,723,741
(C) 純資産総額(Ａ－Ｂ)	24,443,191,572
元本	7,447,086,681
次期繰越損益金	16,996,104,891
(D) 受益権総口数	7,447,086,681口
１万口当たり基準価額(Ｃ／Ｄ)	32,822円

＜注記事項＞

(注) 元本の状況

期首元本額	8,281,138,054円
期中追加設定元本額	670,420,382円
期中一部解約元本額	1,504,471,755円

期末における１口当たりの純資産額は3.2822円です。

(注) 期末における元本の内訳

フランクリン・テンプルトン・ブラジル国債ファンド（毎月分配型）	6,681,664,239円
フランクリン・テンプルトン・ブラジル国債ファンド（年2回決算型）	765,422,442円

○損益の状況

（2025年３月14日～2026年３月13日）

項　　目	当　　期
	円
(A) 配当等収益	2,289,757,420
受取利息	2,289,757,420
(B) 有価証券売買損益	4,332,276,110
売買益	4,456,465,344
売買損	△　124,189,234
(C) 保管費用等	△　30,152,637
(D) 当期損益金(Ａ＋Ｂ＋Ｃ)	6,591,880,893
(E) 前期繰越損益金	11,887,417,204
(F) 追加信託差損益金	1,230,732,059
(G) 解約差損益金	△ 2,713,925,265
(H) 計(Ｄ＋Ｅ＋Ｆ＋Ｇ)	16,996,104,891
次期繰越損益金(Ｈ)	16,996,104,891

(注) 損益の状況の中で(B)**有価証券売買損益**は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)**追加信託差損益金**とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)**解約差損益金**とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

＜お知らせ＞

基準価額算出に関する事務処理上の誤りにより、2026年３月２日の基準価額が、本来あるべき基準価額から乖離して算出されました。
なお、基準価額は2026年３月２日を除き正しく算出されております。

2023年11月の「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正に伴い、改正法令の文言に合わせるため、約款に所要の変更を行いました。
（変更日：2025年４月１日）